

研究課題：当院の腹腔鏡補助下腹膜透析カテーテル挿入における工夫

1. 研究の目的

腹膜透析カテーテルは感染や位置異常、閉塞など合併症があり、それを機に状態が急変する可能性があります。合併症を予防するために、術中に大網の切除やチューブの固定等の工夫が必要となります。今回の検討により、腹膜透析カテーテル挿入時の手術手技の工夫で合併症発生率を低下させられるという結果が得られた場合、腹膜透析を必要とする患儿に対しても非常に有意義なものとなりうるというのが目的となります。

2. 研究の方法

2012年1月1日から2025年4月30日までに当院で腹膜透析カテーテルを挿入した小児および成人を対象とし、患者背景・術後経過など（性別、原疾患、手術時年齢、手術手技、術後合併症、合併症までの期間、再手術の有無）の診療情報を用いて後方視的に検討します。

3. 研究期間

倫理委員会で承認を得られた日から2028年3月31日まで。

4. 研究に用いる資料・情報の種類

診療録から、生まれたときの状態や体重、既往歴や併存疾患、手術時期や手術内容、および術後の経過を含めた合併症についての情報を調べまとめます。画像や動画（個人情報是一切含まない）が論文内や学会発表に掲載されることがあります。

5. 外部への資料・情報の提供、研究成果の公表

この研究で得られた結果は、医学雑誌などに公表されることがありますが、患者様の名前など個人情報は一切分からないようにしますので、プライバシーは守られます。また、この研究で得られたデータが本研究の目的以外に使用されることはありません。

6. 研究組織

研究機関：地方独立行政法人埼玉県立病院機構 埼玉県立小児医療センター

研究責任者：外科 科長 川嶋 寛

研究分担者：外科 医長 高城 翔太郎

7. お問い合わせ先・研究への参加を希望しない場合の連絡先

研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、資料・情報が当該研究に用いられることについて患者様もしくは患者様の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、2025年9月30日までに下記の連絡先へお申出ください。その場合でも患者様に不利益が生じることはありません。

地方独立行政法人埼玉県立病院機構
埼玉県立小児医療センター
医事担当（代表 048-601-2200）